

商 工 観 光 部

商 工 振 興 課

観光まちづくり推進課

1 商工業振興事業

市内商工業の振興及び発展を図るため、商工会や商店会への補助のほか、イベント開催の支援等を行った。また、市内中小企業の健全な育成及び経営改善を図るため、融資及び利子補給事業を行った。

(1) 商工振興補助事業

ア あきる野市商工会補助事業

商工会事業補助額 26,604,000円

イ あきる野活力みなぎる交付金

(ア) 住宅改修工事等助成事業

商工会事業補助額 9,512,718円

地域経済の活性化につながる需要の喚起を促進するため、個人住宅の改修工事等の一部を助成した。

a 助成決定数 154件

b 助成金額 9,207,000円

(イ) ご当地グルメ情報発信支援事業

商工会事業補助額 500,000円

東京都立五日市高等学校との連携により「あきる野グルメマップ 夜ごはん編」を作成し、広く情報発信するために公共施設、駅及び市内店舗へ配置した。

ウ 創業就労支援事業

商工会事業補助額 16,540,000円

あきる野創業・就労・事業承継支援ステーションBi@Staにおいて、創業、就労、事業承継に係る相談業務などを実施し、市内事業者等を支援した。

(ア) 相談実績 459件（創業相談355件、就労相談3件、事業承継相談25件、スモールオフィス相談70件、チャレンジショップ相談6件）

(イ) 創業実績 12件

(ウ) 創業塾 令和7年9月20日から10月18日まで（全5回） 参加者16人

(エ) チャレンジショップ利用実績 1件

(オ) スモール・オフィス利用実績 70件

(カ) ミニセミナー 12回 参加者38人

(キ) 事業承継セミナー 令和7年10月29日 参加者17人

(ク) Bi@Sta利用者・創業者交流会 令和8年3月25日 参加者21人

エ 商店街振興補助事業

(ア) イベント事業（東京都商店街チャレンジ戦略支援事業費補助金併用、市補助含む。）

商店会名	事業名	補助額（円）
あきる野商店会連合会	あきる野マルシェ	344,000
秋川駅北口会	秋川駅北口会フェスティバル	854,000
	秋川駅北口会抽選会	414,000
原店商店会	原店歳末セール	812,000
野辺商工会	ワッショイ！ワッショイセール	293,000

五日市商和会	お中元大売出し	432,000
	歳末大売出し	474,000
秋川駅南口商店会	さくらまつりセール	388,000
	ウィンターフェスタ	333,000
二宮商栄会	二宮マルシェ	330,000
増戸商栄会	増戸ますます市 そして 顔出しパネルラリー	984,000
	ますます縁日	201,000
多西商栄会	感謝セール	130,000
雨間商興会	雨間商興会春まつり	62,000

(イ) 活性化事業（東京都商店街チャレンジ戦略支援事業費補助金併用、市補助含む。）

商 店 会 名	事 業 名	補 助 額 (円)
二宮商栄会	商店会のコーポレートアイデンティティ構築事業	138,000

オ 商店街装飾灯補助事業（装飾灯の維持管理経費に対する補助）

商 店 会 名	基 数 (基)	補 助 額 (円)
原店商店会	L E D 34	130,000
五日市商和会	L E D 80	301,000

カ 夏まつり補助事業

開 催 日	令和7年 8月 2日	
場 所	J R 秋川駅北口駅前大通り周辺	
来場者数	約29,000人	
補 助 額	3,799,704円（第20回あきる野夏まつり運営委員会補助）	

キ ヨルイチ補助事業

開 催 日	令和7年 8月30日	
場 所	檜原街道沿いの地域（J R 武蔵五日市駅～小中野交差点）	
来場者数	約20,000人	
補 助 額	676,000円（第20回ヨルイチ実行委員会補助）	

ク 産業祭補助事業

開 催 日	令和7年11月 8日、9日	
場 所	都立秋留台公園	
来場者数	約23,000人（1日目約15,000人、2日目約8,000人）	
補 助 額	7,218,817円（第29回あきる野市産業祭運営委員会補助）	

ケ プレミアム付デジタル商品券事業

商工会事業補助額 37,795,751円

多くの中小企業者や市民が物価高騰の影響を受けている状況を踏まえ、地域経済の活性化及びキャッシュレス決済の推進を図るため、プレミアム付デジタル商品券事業を実施した。

(ア) 実施期間 令和7年8月12日から12月26日まで

(イ) 実施内容 プレミアム付デジタル商品券（P a y P a y 商品券）の販売を実施。販売の額面（5,000円）に対して、30%プレミアム分（1,500円相当）のポイントを付与した。

(ウ) 対象となるキャッシュレス決済 P a y P a y

(エ) 取扱店舗数 410店舗

(オ) 決済額 144,107,200円

(カ) 還元額 25,878,015円

(2) 中小企業振興資金融資及び小口零細企業保証資金融資並びに利子補給事業

ア 融資件数 95件

イ 融資額 525,600,000円

	利子補給件数(件)	利子補給額(円)
上半期	289	1,460,744
下半期	302	1,602,766
合計	591	3,063,510

ウ 保証料助成額 10件 388,363円

(3) 小規模事業者経営改善資金利子補給

	利子補給件数(件)	利子補給額(円)
上半期	241	6,669,666
下半期	237	6,586,904
合計	478	13,256,570

2 地域産業活性化事業

地域経済力の強化を目指し、商工業、観光等全ての産業の効果的な振興を図るため、市民と協働で活性化事業を実施した。

(1) 秋川駅周辺地区産業活性化戦略委員会

ア 会議 6回

イ 実施事業

(ア) イルミネーション事業

あきる野市市制施行30周年記念 Akiruno Winter Festival 2025

秋川駅周辺地区への誘客及び活性化を図るため、令和7年12月6日から令和8年1月31日まで、秋川駅北口ロータリー、秋川駅南口ロータリー及び秋川駅連絡通路にイルミネーションを設置し、点灯した。

(イ) 秋川駅周辺地区まちづくり推進事業

a あきる野市市制施行30周年記念 あきる野マルシェ「みせるの」

秋川駅周辺地区への誘客促進及び活性化を図るため、あきる野マルシェ実行委員会と連携し、令和7年8月31日に秋留野広場でマルシェ及びステージイベントを開催した。

b あきる野市市制施行30周年記念 秋川駅前ハロウィンイベント

秋川駅周辺地区の産業振興を図るため、令和7年10月26日に、秋川駅周辺店舗によるスタンプラリーや秋川駅南口運動広場での抽選会などを実施した。

(2) 五日市活性化戦略委員会

ア 全体会議 6回

班長会議 6回

イ 実施事業

(ア) 五日市地区にぎわい創出事業

a あきる野市市制施行30周年記念 武蔵五日市グルメ市

五日市ひろばにおいて、地域の様々な世代の方が交流する場を創出するため、市内キッチンカーの出店による飲食の販売を行った。また、五日市商店街ガイドブックを配布し、来場者の地域回遊の促進を図った。

b あきる野市市制施行30周年記念 第10回秋川溪谷雛めぐり

五日市地域の魅力発信及び誘客促進による地域活性化を図るため、令和8年2月7日から3月8日まで、武蔵五日市駅及び武蔵増戸駅周辺の商店や公共施設にお雛様等を展示した。

c あきる野市市制施行30周年記念 五市マルシェ

武蔵五日市駅前ロータリー沿いにおいて、秋川流域の商工業者が出店するマルシェを開催した。JRとの調整を行い、中央線沿線の各駅へポスターを掲出することで秋川溪谷の魅力を広くPRした。また、SNSを活用し、出店者情報や観光情報を更新することで、地域の内外へ情報発信を行った。

(イ) 五日市まちづくり推進事業

a まちづくり通信

五日市地域における店舗情報やイベント情報等をまとめた地域紙である「五日市まちづくり通信」を作成し、公共施設や各商店へ配置するとともにSNSを活用することで、地域内外に情報発信を行った。

b あきる野市市制施行30周年記念 空き店舗見学会

地域内の空き物件を調査し、賃貸可能な空き家・空き店舗を掘り起こした上で、令和7年11月15日に、まち歩きをしながら物件を見学する「東京五日市せせらぎ暮らし（まち歩き物件見学ツアー）」を実施し、参加された12人に対し、五日市・増戸地域の魅力をPRし、開業・移住への支援を行った。

c 五日市まちづくり協議会

五日市地区の商店会や事業者などが連携し、五日市地区の活性化に必要な取組の協議や情報共有を行う組織である「五日市まちづくり協議会」の支援を行い、全体会議を2回開催し、イベントや観光情報の共有を行い、地域の課題について意見交換を行った。

(3) 養沢活性化委員会

ア 会議 10回

イ 実施事業

(ア) ホタル育成事業

カワニナ及びホタルの養殖、ホタル観賞会を行った。

(イ) 植樹・景観整備事業

養沢川沿いの景観整備を行った。

(ウ) 果樹園整備事業

ブルーベリー畑の整備及びブルーベリージャムの販売を行った。

(エ) マルシェ養沢事業

ホタル鑑賞会、秋まつりにて物品の販売を行った。

(オ) 空き家対策事業

空き家調査及びパンフレットの作成・配布を行った。

(カ) 秋まつり事業

スタンプラリー及びマルシェを実施した。

3 中小企業信用保険法の規定に基づく認定事業

特定の要件により経営の安定に支障が生じている中小企業者について、信用保証協会による保証限度額の別枠化を行うため、特定中小企業者として認定した。

4 大規模小売店舗立地法に基づく届出

- (1) 新設の届出 1件
- (2) 変更の届出 1件

5 砂利採取法に関する意見聴取

秋川の河川保全区域を含む土地における砂利採取計画については、砂利採取法の規定に基づき、都から砂利採取事業者が令和7年4月1日から令和9年3月31日まで認可（更新）を受けており、当該事業者が砂利採取を継続しているため、令和7年度は意見聴取を行わなかった。

- (1) 新規砂利採取件数 0件
- (2) 継続砂利採取件数 0件

6 消費者行政関係

消費者トラブルの解決を図るため、消費者相談を実施した。また、消費生活の安定及び向上を図るため、講座や啓発事業を実施した。

(1) 消費者相談

- ア 開催日数 92日
- イ 相談件数 220件

(2) 消費生活講座

開催日	講座名	受講者数(人)
令和7年 7月23日	夏休み子ども消費生活講座「知ろう地域の名産品！～『あきる野の匠』が教える！しょうゆづくりとMYしょうゆづくり体験～」	20
12月 8日	東京都共催消費生活講座「食品ロス削減につながる冷蔵庫収納術」	13

(3) 消費者啓発

- ア 新成人への消費者被害防止啓発リーフレット（若者用）配布
- イ 広報「あきる野」への消費生活情報掲載
- ウ 消費者啓発物品の作成・配布
- エ 産業祭会場でのクーリング・オフに関するパネルの展示

(4) 西多摩地域消費者行政事務連絡会・西多摩地域広域行政圏消費生活相談連絡会議

西多摩地域8市町村（青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、瑞穂町、日の出町、奥多摩町及び檜原村）における消費者行政の円滑な推進及び運営を図ることを目的とし、消費生活講座の共同開催や消費生活相談の相互受付を実施した。

- ア 連絡会 4回
- イ 講座 2回

開催日	講座名	受講者数(人)
令和7年11月11日	「家族に迷惑をかけないためのデジタル終活入門」	39
令和8年 2月 6日	「Let's スプリングクリーニング」	25

7 労働行政関係

ハローワーク及び東京しごとセンター多摩と共催でセミナーを実施し、就労支援に係る情報を広報やホームページに掲載することで、市民の就職活動を支援した。

(1) あきる野ハローワーク求人情報コーナー

ア 来所者 7, 173人(求職者7, 144人、求人者29人)

イ 就職者 542人

(2) 労働セミナー及び面接会

ア 中高年齢者就職支援セミナー(ハローワーク青梅との共催事業)

開催日	内 容	参加者数(人)
令和7年 7月25日	応募書類の作成、面接の受け方等	19
令和8年 1月23日		18

イ 面接会(ハローワーク青梅との共催事業)

開催日	参加企業数(社)	参加者数(人)	採用人数(人)
令和7年 7月25日	2	4	2
令和8年 1月23日	2	6	3

ウ 就職支援セミナー(ハローワーク青梅との共催事業)

開催日	内 容	参加者数(人)
令和7年 4月28日	自己理解・職業理解(座学)	17
5月26日	書類選考対策(個別)	5
6月30日	応募書類の書き方(座学)	38
7月28日	面接対策(ロールプレイ)	38
8月25日	応募書類の書き方(座学)	36
9月29日	自己理解・職業理解(座学)	36
10月27日	応募書類の書き方(座学)	35
11月25日	自己理解・職業理解(座学)	39
12月22日	書類選考対策(個別)	13
令和8年 1月26日	応募書類の書き方(座学)	39
2月24日	面接対策(ロールプレイ)	26
3月30日	自己理解・職業理解(座学)	39

エ しごとと子育て両立応援ミニセミナー(ハローワーク青梅との共催事業)

開催日	内 容	参加者数(人)
令和7年12月 5日	ハローワークの概要	中止
令和8年 3月13日	就職活動準備 応募書類の作成、面接対策	2

オ 就職面接会(東京しごとセンター多摩との共催事業)

開催日	参加企業数(社)	参加者数(人)	開催場所
令和7年 6月24日	15	40	S&Dたまぐーセンター
12月 4日	25	109	都立多摩職業能力開発センター

カ ミニセミナーin あきる野 ～いきいきと働くわたしのために～わたしにぴったりのライフワーク・バランスを考えてみよう(東京しごとセンター多摩・女性しごと応援テラス多摩との共催事業)

開催日	内 容	参加者数(人)
令和7年 9月26日	自己理解(ワークショップ)	16

8 五日市ひろば利用状況

五日市ひろばを市民の交流の場として開放することで、商店街の振興と地域産業の総合的な発展を図った。

使用承認 件数(件)	使 用 料				使用承認 日数 (日)	使用承認 人数(人)
	件数 (件)	徴収分(円)	件数 (件)	減免分(円)		
40	22	42,600	18	136,200	148	18,385

9 青梅線沿線地域産業クラスター協議会

J R 青梅線、五日市線及び八高線沿線地域の企業を有機的なネットワークで結び付け、取引、連携、協働、協業及び健全な競争を促進することで、地域産業の活性化を図った。

(1) 会議

ア 運営協議会	1回
イ 事務局会議	4回
ウ ワーキンググループ	4回

(2) 事業

ア 人材育成事業

- (ア) 新入社員研修（全3回、延べ40人）
- (イ) 中堅社員・管理職研修（全2回、延べ8人）

イ 人材確保支援事業

- (ア) 中小企業向けセミナー（羽村市産業福祉センター）

開催日	参加者数(人)
令和7年11月 7日	10

- (イ) 中途採用向け就職面接会

- a 面接対策セミナー（都立多摩職業能力開発センター）

開催日	参加者数(人)
令和7年12月 4日	88

- b 面接会（都立多摩職業能力開発センター）

開催日	参加者数(人)	参加企業数(社)
令和7年12月 4日	101	20

ウ 企業間連携事業

- (ア) 企業視察見学（株式会社富山・株式会社サンテック）

開催日	参加者数(人)
令和8年 2月 17日	24

- (イ) 情報交換会（瑞穂町民会館）

開催日	参加者数(人)
令和8年 2月 17日	24

エ 販路開拓支援事業

企業情報サイト作成事業

企業情報サイトとして、首都圏産業活性化協会（TAMA協会）のウェブサイト開設したデータベースに新規掲載企業の追加及び企業レポートの更新を行った。

オ 新事業創生展示会現地視察

トヨタ自動車本社サプライヤーセンター現地視察

クラスター地域内の製造業者の販路拡大・連携強化を図るため、トヨタ自動車が開催した展示会への視察を行った。

10 栗原市民まつりへの参加

友好姉妹都市である宮城県栗原市において、令和7年8月30日に開催された「2025栗原市民まつり」に参加し、あきる野市の特産品のPR等を行った。

11 生産性向上特別措置法に基づく導入促進基本計画の策定

中小企業の実産性向上を図るため、生産性向上特別措置法に基づき市内中小企業の実端設備等導入計画を認定し、設備投資を支援した。

- (1) 先端設備等導入計画の認定を受けた事業者 5事業者
(2) 提出済みの先端設備等導入計画を変更した事業者 0事業者

12 あきる野市商工業振興プラン推進会議

あきる野市商工業振興プランに基づき、実施主体と連携し、各個別施策についての進捗状況の共有及び次年度の事業実施に向けた見直し等を行った。

	開催日	内容(議事等)
第1回	令和7年 4月14日	令和6年度実施事業の実績について
第2回	10月20日	令和7年度実施事業の進捗状況について

13 寄附採納(ふるさと納税)

自主財源の確保を図るため、ふるさと納税の取組を周知し、寄附を募ることで寄附を活用したまちづくりを推進した。

(1) 個人版ふるさと納税

件名	件数	金額(円)
一般寄附金	2,500	63,682,500
保健福祉事業指定寄附金	376	9,166,900
環境保全事業指定寄附金	579	20,809,400
産業振興事業指定寄附金	183	8,843,000
公共施設整備事業指定寄附金	160	4,887,000
安心安全まちづくり事業指定寄附金	243	8,494,500
教育文化事業指定寄附金	504	17,047,200
市制施行30周年記念事業指定寄附金	47	1,001,000
合計	4,592	133,931,500

(2) 企業版ふるさと納税

件名	件数	金額(円)
保健福祉事業指定寄附金	1	100,000
環境保全事業指定寄附金	0	0
産業振興事業指定寄附金	2	3,000,000
公共施設整備事業指定寄附金	1	100,000
安心安全まちづくり事業指定寄附金	0	0
教育文化事業指定寄附金	3	80,000,000
フィルムコミッション事業指定寄附金	0	0
合計	7	83,200,000

14 食料品物価高騰対策生活者支援事業

物価高騰の影響を受けた生活者や事業者を支援するため、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、令和8年2月1日時点である野市の住民基本台帳に登録されている方へ1人当たり8,000円分のバニラVisaギフトカード（プリペイド式ギフトカード）を配付するための準備として、事前案内はがきの発送及びコールセンターを開設した。

1 秋川溪谷観光推進事業

秋川溪谷を活用した観光推進を図るとともに、地域の自然、歴史文化などの地域資源を活用した地域振興策を展開し、観光客の誘客と地域の活性化を図ることができた。

(1) 観光ボランティアガイド事業

ア 武蔵五日市駅前観光ガイド

武蔵五日市駅前において、5月から11月まで（7月、8月及び9月を除く。）の土曜日、日曜日及び祝日の午前中に、観光ボランティアガイドを実施した。

(ア) 案内日数 合計20日間

(イ) 案内件数 94組240人

イ 観光ボランティアガイド研修会 1回開催（令和7年5月28日）

ウ 予約制ガイドツアー 2回開催

ツアー名	初夏を感じる あじさい山へのハイキング
開催日	令和7年 6月28日 午前9時から11時30分まで
コース	・共通コース（約3km） 武蔵五日市駅 → 観光案内所横の高架下（準備体操）→ かっちゃんのアナベル → まいまい坂 → 穴澤天神社 → あじさい山入口付近 ・希望者のみ案内（約2km） あじさい山入口付近 → 山抱きの大榎 → 深沢小さな美術館 → 真光院 → 深沢家屋敷跡 → あじさい山入口付近
内容	秋川溪谷を観光ボランティアガイドの解説で巡る。
参加者	18人（従事ガイド6人）

ツアー名	歴史文化に触れる 紅葉めぐり
開催日	令和7年11月23日 午前9時から正午まで
コース	武蔵五日市駅 → 秋川橋河川公園 → あゆみ橋 → 阿伎留神社 → 小和田橋 → 広徳寺 → 佳月橋 → 五日市郷土館（約5km）
内容	秋川溪谷を観光ボランティアガイドの解説で巡る。
参加者	18人（従事ガイド5人）

(2) 観光客誘致促進事業（市後援事業）

開催日	事業名
令和7年 4月 5日	第17回ハセツネ30K 春のグリーンフェスティバル
令和7年 5月17日 5月18日	人形ファンタジー “夢”
令和7年 4月19日 5月17日 6月21日 8月 7日 8日 14日 15日 30日 10月18日 11月15日 令和8年 3月21日	五市マルシェ
令和7年 6月 7日 ～ 7月 6日	秋川溪谷あじさいまつり
9月23日	あきる野の奏で in フレア五日市
10月 5日	木もれびシネマの森

10月12日 13日	第33回日本山岳耐久レース（24時間以内）～「長谷川恒男Cup」
10月18日	第33回日本山岳耐久レース（24時間以内）～「長谷川恒男Cup」 秋のグリーンフェスティバル
11月15日	第7回秋川流域花火大会
11月22日 ～12月15日	つくる！あきがわアートストリーム2025
令和8年 1月 1日 ～ 3日	武蔵五日市七福神巡り
2月21日 3月14日	チャリティー音楽会／秋川クリーンアップ
3月29日	第18回ハセツネ30K大会

（３）秋川溪谷 Wi-Fi 整備

公衆無線LAN「Akigawa Keikoku Free Wi-Fi」について、武蔵五日市駅前拠点施設を新たなアクセスポイントとして追加し、公共施設11か所でサービスを提供した。

アクセス回数（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）

11か所合計 68, 127アクセス

（４）観光用デジタルサイネージ整備

多言語対応のデジタルサイネージ（電子看板）について、季節ごとの観光PR動画の配信やイベント告知などに活用し、観光情報を発信した。

（５）広域連携事業

ア 「高尾山・リニア」地区広域連携事業

八王子市、あきる野市、相模原市、大月市、都留市及び上野原市の6市で連絡会を組織し、欧米豪を中心とした訪日外国人旅行者の誘客促進を図った。

（ア）観光情報ポータルサイトの運用・保守

連携市により立ち上げた英語版観光情報ポータルサイト（TOKYO WESTSIDE）を運用し、情報発信した。

目標（WEB サイト PV 数） 51, 730回

実績（WEB サイト PV 数） 174, 883回（達成率338%）

（イ）広告配信によるサイト流入促進

WEB サイトへの流入を促進するため、PR 広告を配信した。

期間：令和8年1月26日から2月28日まで

広告配信元：Google デマンドジェネレーション、Meta（Facebook、Instagram）

イ 西多摩地域広域行政圏協議会事業

西多摩地域8市町村の協働による観光客誘客PRを実施した。

（ア）西多摩フェア

名 称	西多摩フェア2025
開催日	令和7年 9月13日
場 所	JR 八王子駅 みどりの窓口前
内 容	観光パンフレット及び周知グッズの配布、公式キャラクターグリーティング

（イ）東京多摩観光フェア

名 称	東京多摩観光フェア
開催日	令和7年10月 7日から11日まで
場 所	JA 東京アグリパーク
主 催	多摩観光推進協議会

内 容	西多摩地域広域行政圏協議会構成市町村の観光パンフレット等の配布など
-----	-----------------------------------

(ウ) 西多摩地域ドライブスタンプラリー

西多摩地域 8 市町村の監修のもと、帝京大学の学生が企画を提案し、一般社団法人日本自動車連盟（JAF）が運営を行った。

名 称	西多摩地域ドライブスタンプラリー
開催日	令和 8 年 1 月 9 日から 3 月 1 5 日まで
対象エリア	西多摩地域 8 市町村
スタンプ スポット	西多摩地域 8 市町村から各 2 か所をスタンプスポットとして選定した。 あきる野市は、秋川溪谷瀬音の湯及び石舟橋をスポットとした。
結 果	総押下数 1, 1 9 3 回（西多摩地域 8 市町村合計）

(6) ふるさと文化創生事業

地域が誇る先人たちの功績を広め、ゆかりの地を観光資源として PR するため、「あきる野市ゆかりの人パンフレット」及び「五日市憲法草案ゆかりの地を巡るリーフレット」を観光案内所等で配布し、郷土愛の醸成を図った。

ア あきる野市ゆかりの人事業

あきる野市ゆかりの人展示

開 催 日 令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 3 1 日まで（年末年始を除く。）

来場者数 1 0 9 人

イ あきる野の匠事業

あきる野の自然、歴史及び文化から生まれ、先代から受け継がれてきた伝統の味、技法、熟練の技術などの承継者を「あきる野の匠」として認定しており、「あきる野の匠」が手掛ける魅力ある商品等を市内外問わず広く発信し、商品の需要拡大を図るとともに、匠の技等の承継につなげ、観光客の増加及び郷土愛の醸成を図った。

(ア) あきる野市産業祭におけるプロモーション実施

開催日	令和 7 年 1 1 月 8 日
場 所	都立秋留台公園
内 容	匠の商品の展示、匠の方々による商品等の説明、リーフレットの配布、人物紹介のパネル展示、来場者向けアンケートの実施

(イ) あきる野の匠たちリーフレットの作成

「あきる野の匠」が手掛ける魅力ある商品等を紹介するリーフレットを作成し、市内外問わず広く発信することで、商品の需要拡大を図るとともに、匠の技等の承継につなげ、観光客の増加及び郷土愛の醸成を図った。

日本語版 3, 9 0 0 部 英語版 2, 0 0 0 部

(7) デザインマンホール蓋設置・活用等推進事業

観光客の誘客及び地域活性化を図るため、デザインマンホールが描かれた 2 種類のマンホールカードを作成し、配布した。

ア 「森っこサンちゃん」と「お祭り」 配布枚数 3, 1 9 3 枚

イ 「森っこサンちゃん」と「石舟橋」 配布枚数 2, 7 3 0 枚

(8) 観光ポスター作成・配布

観光客の誘客及び郷土愛の醸成を目的に、ポスターの秋号及び春号について、それぞれ B 1 サイズを 3 5 0 部作成し、JR 拝島駅、秋川駅、東秋留駅、武蔵五日市駅及び市内各所に掲出・宣伝した。

2 秋川渓谷観光プロモーション事業

秋川渓谷のブランド化を推進するため、「秋川渓谷の魅力」を伝える観光プロモーション事業を展開した。

(1) 民間事業者等との連携による観光プロモーション事業

ア 秋川渓谷観光関係機関連絡会との連携事業

観光プロモーション事業として、秋川渓谷の魅力を PR するために、観光キャラバンを実施した。

開催日	令和 8 年 3 月 4 日
場 所	立川駅 駅たびコンシェルジュ前
内 容	観光パンフレット等の配布、森っこサンちゃんなどによるグリーティング

イ 東日本旅客鉄道株式会社（JR 東日本）との連携事業

(ア) 五日市線開業 100 周年イベント

令和 7 年 4 月 21 日に開業 100 周年を迎えた五日市線について、JR 東日本八王子支社主催により、五日市線開業 100 周年イベントを実施した。

開催日	令和 7 年 11 月 15 日
場 所	武蔵五日市駅
内 容	・ 駅ホームに停車している列車内での観光パンフレットの配布、観光 PR ポスター及びフォトスポットの展示並びに森っこサンちゃんによるグリーティングの実施 ・ 武蔵五日市駅前拠点施設「中のひろば」に五日市線沿線 5 市町村のブースを設置し、PR を実施

(イ) 駅からハイキング

秋川渓谷への誘客を図るため、観光スポット等をめぐるウォーキングイベントに参画した。

開催日	コース名	参加者数
令和 7 年 4 月 21 日 ～ 7 月 10 日 ※毎週水曜日を除く	五日市の歴史と自然満喫コース	702 人
8 月 31 日 ～ 10 月 5 日 ※毎週水曜日を除く	秋川エリアの歴史と自然満喫コース	565 人
11 月 1 日 ～ 30 日 ※毎週水曜日を除く	～秋川渓谷～都心から約 60 分、橋から楽しむ秋川渓谷の紅葉満喫コース	431 人

(2) イベント出展等による観光誘客事業

ア 東京観光情報センター多摩

開催日	令和 7 年 5 月 29 日から 6 月 29 日まで
場 所	エキュート立川 3 階 東京観光情報センター多摩
内 容	観光パンフレットの配布、パネル及びポスターの展示

イ 東京観光情報センター東京都庁

開催日	令和 7 年 10 月 17 日から 31 日まで
場 所	東京都庁第一本庁舎 1 階 東京観光情報センター
内 容	観光パンフレットの配布、パネル及びポスターの展示

(3) 観光関係雑誌等による紹介・宣伝

各種行事、市内観光施設等について、地域情報誌等を利用し、紹介・宣伝した。

媒 体	回 数	媒 体	回 数
地域情報誌	2	WEB	16
フリーペーパー	1	テレビ	1
書 籍	1	ポスター、デジタルサイネージ	1

新 聞	0	合 計	2 2
-----	---	-----	-----

(4) SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の活用

ア あきる野市観光情報 Facebook ページ統計データ

- (ア) 期 間 令和7年4月1日から令和8年3月31日まで（365日）
(イ) 投稿回数 78回（1週当たり平均1.5回投稿）※1年間を52週とする。
(ウ) 各投稿の平均閲覧回数 2,015回（複数回閲覧者含む。）
(エ) 各投稿の合計閲覧回数 157,208回（複数回閲覧者含む。）
(オ) 各投稿の平均閲覧人数 1,285人（ファン以外を含む。）
(カ) 各投稿の合計閲覧人数 100,243人（ファン以外を含む。）
※ 各投稿の平均は、合計の閲覧回数・閲覧人数から算出
(キ) ファン数 3,744人（令和8年3月31日現在）

※ 令和7年3月31日時点は、3,580人

イ 秋川渓谷 LINE アカウント

- (ア) 期 間 令和7年4月1日から令和8年3月31日まで（365日）
(イ) ホーム投稿回数 82回（1週当たり平均1.5回投稿）
(ウ) 各発信の平均閲覧回数 650回（複数回閲覧者含む。）
(エ) 各発信の合計閲覧回数 53,332回（複数回閲覧者含む。）
※ 各発信の平均及び合計の閲覧回数・閲覧人数は、投稿・配信日の数字から算出
(オ) 友達数（注1） 3,577人（令和8年3月31日現在）
※1 うち有効友達数（注2）2,335人
※2 令和7年3月31日時点は、3,298人（うち有効友達数2,151人）
（注1）…秋川渓谷 LINE アカウントからの通知を受け取る設定をした方の数
（注2）…友達数から通知の受取を拒否した方の数を引いた数

(5) 観光パンフレット等の作成

ア 秋川渓谷四季リーフレット（日本語）

春・夏版 30,000部、秋・冬版 30,000部

イ 秋川渓谷総合マップ 50,000部

(6) 秋川渓谷観光デジタルフォトコンテスト

秋川渓谷を中心とした写真を募集し、広く情報を発信する市民参加型のイベントとして、フォトコンテストを開催した。また、応募作品の一部を秋川渓谷の魅力発信のため、観光パンフレット等の写真データとして使用した。

ア 第19回 テーマ「魅力再発見～四季の風景～」

- (ア) 応募期間 令和7年12月1日から令和8年1月31日まで
(イ) 応募作品 120作品
(ウ) 受 賞 金賞1点、銀賞1点、特別賞2点

(7) 秋川渓谷ロゴマークの活用

「東京のふるさと・あきる野」の実現に向けた観光まちづくりの取組として、秋川渓谷を広くPRするため、秋川渓谷ロゴマークを定め、活用を図った。

ア ロゴマークの使用承認

団体・事業者が商品等に掲載した。

- (ア) 使用申請 3件 (イ) 使用承認 3件

イ 啓発用品の掲出・作成

ロゴマークを刷り込んだ啓発用品を作成した。

秋川渓谷ロゴ入りポロシャツ 140枚作成

(8) 「森っこサンちゃん」LINEスタンプ製作

LINEアカウント「秋川渓谷」を活用し、秋川渓谷観光プロモーションを推進するため、森っこサンちゃんのオリジナルLINEスタンプを販売した。

LINEスタンプ販売数 124ダウンロード(5,501円)

(9) 石舟橋イルミネーションの開催

優れた自然の風景地の保護に配慮しつつ、秩父多摩甲斐国立公園の利用増進を図るとともに、閑散期となる冬季の誘客促進を図るため、石舟橋及び秋川渓谷瀬音の湯周辺をイルミネーションで装飾した。

開催期間 令和7年11月20日から令和8年3月1日まで

3 秋川渓谷観光施設維持管理事業

秋川渓谷の観光施設等を観光資源として継続的に保存するため、適正な維持管理を行った。また、より魅力的な観光ルートを整備するため、眺望確保や訪日外国人旅行者に対応した誘導標識の設置を行った。

(1) 秋川渓谷観光情報コーナーの運営管理

秋川渓谷観光の玄関口である武蔵五日市駅の改札外に、観光資源の魅力発信拠点として設置した「秋川渓谷観光情報コーナー」において、観光パンフレット等の配架や秋川渓谷Wi-Fiの提供、デジタルサイネージによる多言語情報の発信を行うことで、訪日外国人旅行者の受入れ環境整備を行った。

(2) 歩行者用誘導標識の整備

観光客の周遊性向上及び地域の魅力発信を図るため、歩行者用誘導標識3基を設置した。英語による案内を併記することで、訪日外国人旅行者の受入れ環境整備を行った。

(3) 森林資源を活用した魅力創出事業

ア 長岳周辺景観伐採等事業

長岳周辺の樹木を伐採したことで、景観を確保し、登山道の魅力を向上させた。また、樹木に適した生育環境の実現を果たした。

イ 深沢地区園地整備事業

深沢地区にある「千年の契杉」付近の樹木を伐採したことで、登山道の魅力を向上させた。また、「千年の契杉」までの登山道に木製階段等を設置し、来訪者に安全で快適な登山の環境整備を行った。

ウ 臼杵山・グミ尾根周辺景観伐採事業

臼杵山頂上及びグミ尾根の樹木を伐採したことで、景観を確保し、登山道の魅力を向上させた。

(4) 観光ルート草刈り等事業

観光遊歩道、観光施設等周辺の除草作業、草刈作業、植栽管理を実施した。

(5) 秋川渓谷瀬音の湯周辺散策ルート等整備事業

老朽化が進行している秋川渓谷瀬音の湯周辺散策ルートについて、改修工事の実施を目指し改修工事設計業務を実施した。

件 名	受注者	金 額
長岳橋床板改修及び高欄塗装工事設計業務委託	株式会社協和コンサルタンツ東京支社	5, 7 3 1, 0 0 0 円
秋川溪谷瀬音の湯散策ルート改修工事測量・設計・地質調査業務委託	株式会社アース設計コンサルタントあきる野営業所	7, 2 6 0, 0 0 0 円
秋川溪谷瀬音の湯散策ルート改修工事測量・設計・地質調査業務委託（張出し歩道の健全度調査）	株式会社アース設計コンサルタントあきる野営業所	2 9 7, 0 0 0 円

4 観光トイレ維持管理事業

秋川溪谷を訪れた観光客に快適に利用してもらうことを目的として、ハイキングコース上などにある36か所の観光トイレの整備及び維持管理を行った。

5 秋川流域持続可能なツーリズム推進事業

秋川溪谷戸倉体験研修センター3階にある「秋川流域ジオ情報室」において、秋川流域に存在する地域資源を季節ごとに紹介する展示物等の作成や解説を実施するなど、来訪者の対応を行った。

令和7年10月から令和8年3月までは、秋川溪谷戸倉体験研修センター外壁ほか改修工事を実施したため、休館した。

年間来訪者 4, 8 9 0 人

6 秋川溪谷戸倉体験研修センター運営管理事業

施設を継続的に安全に使用できるよう、劣化した外壁等の改修工事を実施した。

件 名	受注者	金 額
R7 秋川溪谷戸倉体験研修センター外壁ほか改修工事	株式会社来住野工務店	6 9, 2 6 5, 9 0 0 円
R7 秋川溪谷戸倉体験研修センター外壁ほか改修工事監理業務委託	koyama 設計	3, 9 6 0, 0 0 0 円

7 ふるさと工房五日市運営事業

紙すき体験や講習会を実施することにより、東京都指定無形文化財「軍道紙」の保存伝承及びPRを行った。

(1) 利用人数 2, 8 3 4 人（市内760人、市外2, 0 7 4 人）

(2) 小学校体験学習件数 2 6 校（市内8校、市外18校）、1, 3 2 3 人

8 指定管理者による管理

指定管理者の能力を活用し、市民等に対する観光行政サービスの効果及び効率を高めることができた。

(1) 観光施設

施設名	指定管理者	指定期間	利用者数
秋川橋河川公園	一般社団法人あきる野市観光協会	令和7年 4月 1日	5 1, 0 4 2 人
第1水辺公園リバーサイドパークの谷		～	1, 6 7 5 人
第4水辺公園秋川ふれあいランド		令和12年 3月31日	1, 3 5 8 人

(2) 十里木・長岳観光施設

施設名	指定管理者	指定期間	利用者数	
秋川溪谷瀬音の湯	新四季創造株式会社	令和7年 4月1日 ～ 令和12年 3月31日	温泉	225,047人
			宿泊	6,500人
			レストラン	63,326人
			直売	83,543人
			合計	378,416人

※レストランは令和5年4月から委託を実施

(3) 秋川溪谷戸倉体験研修センター

ア 施設実績

施設名	指定管理者	指定期間	利用者数	
秋川溪谷戸倉体験 研修センター	新四季創造株式会社	令和5年 4月1日 ～ 令和10年 3月31日	体験	913人
			宿泊	1,216人
			飲食	8,579人
			研修室	2,770人
			見学等	4,021人
			合計	17,499人

※令和7年10月から令和8年3月までは、外壁ほか改修工事を実施したため、休館した。

イ 指定管理委託料 26,500,000円(年間)

9 フィルムコミッション事業

(1) 撮影支援

映画・テレビ・CMなどの撮影がスムーズに進行するための環境を整えるとともに、経済振興・誘客効果・地域の魅力を再認識するために、撮影を誘致及び支援した。

ア 撮影問合せ及び実施件数

ロケ地等問合せ件数 219件(うち撮影実施件数47件、実施率21.5%)

月	問合せ件数				撮影実施件数			
		内訳				内訳		
		映画	テレビ	その他		映画	テレビ	その他
4月	18	2	10	6	6	0	4	2
5月	22	3	17	2	5	1	3	1
6月	18	9	2	7	6	0	3	3
7月	31	3	13	15	8	3	3	2
8月	22	2	12	8	4	0	1	3
9月	21	1	11	9	7	0	4	3
10月	25	5	8	12	4	1	1	2
11月	18	2	11	5	0	0	0	0
12月	9	2	3	4	1	0	1	0
1月	14	3	6	5	2	0	1	1
2月	10	1	5	4	3	0	2	1
3月	11	1	7	3	1	0	1	0
合計	219	34	105	80	47	5	24	18

イ 寄附の受入れ

(ア) 寄附件数 3 件

(イ) 寄附金額 80,000 円

ウ 撮影における間接効果

(ア) 認知度及び好感度の向上

テレビをはじめとしたメディアに市が取り上げられることで、市の一般的な認知度及び好感度を高めた。

(イ) 郷土愛の醸成

テレビをはじめとしたメディアに市が取り上げられることで、市民が地元の良さを再確認し、地元への誇りを向上させた。

(ウ) 市民との交流

市内でのテレビや映画などの撮影に際し、市民の協力を得ることで、市民に共通の話題提供と交流を促した。

(2) 映像・画像提供

市で独自に撮影し、保存している市内景勝地などの画像、動画素材をテレビ番組等に提供した。

映像提供件数 13 件

10 武蔵五日市駅前拠点施設運営管理事業

秋川流域における活力と創造力を満たす学習の場として、様々な人が集い、学び、憩う場所を提供し、もって地域の活性化に寄与するため、武蔵五日市駅前拠点施設の開設、運営及び維持管理を行った。

また、武蔵五日市駅前拠点施設を核とする秋川流域の魅力と回遊性の向上、居場所の形成、交流人口・関係人口の創出事業を行った。

(1) 施設使用実績

ア 期間

令和7年7月1日から令和8年3月31日まで

イ 使用件数及び使用料

使用単位区分			使 用 料	
			件数 (件)	金 額 (円)
中 の ひろ ば	月曜日から 金曜日まで	午前 (午前9時から正午まで)	37	247,000
		午後 (午後1時から5時まで)	51	604,800
		夜間 (午後6時から10時まで)	24	325,000
		延長1 (正午から午後1時まで)	0	0
		延長2 (午後5時から6時まで)	0	0
		小 計	112	1,176,800
	土曜日 日曜日 及び休日	午前 (午前9時から正午まで)	37	383,600
		午後 (午後1時から5時まで)	36	574,000
		夜間 (午後6時から10時まで)	15	268,800
		延長1 (正午から午後1時まで)	0	0
		延長2 (午後5時から6時まで)	0	0
		小 計	88	1,226,400
		午前 (午前9時から正午まで)	18	60,060
		午後 (午後1時から5時まで)	24	112,000

外のひろば	月曜日から 金曜日まで	夜間（午後６時から１０時まで）	１ ６	９ １， ２ ０ ０
		延長１（正午から午後１時まで）	０	０
		延長２（午後５時から６時まで）	０	０
		小 計	５ ８	２ ６ ３， ２ ６ ０
	土曜日 日曜日 及び休日	午前（午前９時から正午まで）	２ ８	１ ３ ０， ２ ０ ０
		午後（午後１時から５時まで）	１ ９	１ ３ ５， ２ ０ ０
		夜間（午後６時から１０時まで）	１ ６	１ ３ ６， ４ ０ ０
		延長１（正午から午後１時まで）	０	０
		延長２（午後５時から６時まで）	０	０
		小 計	６ ３	４ ０ １， ８ ０ ０
	合 計		３ ２ １	３， ０ ６ ８， ２ ６ ０
附帯設備使用料		４ １	１ ２ ３， ０ ０ ０	
減 免	国又は地方公共団体による使用		６ ４	１， ６ １ ３， ６ ０ ０
	お試し利用モニター		２ ６	３ １ ６， ７ ０ ０
納 入 額				１， ２ ６ ０， ９ ６ ０

ウ お試し利用モニターの実施

武蔵五日市駅前拠点施設を利用したことのない企業や団体、グループ等に利用しやすい機会を設けることで、今後の継続的な施設の利用に繋げるため、お試し利用モニターを実施した。

（ア）実施期間

令和７年７月１日から令和８年３月３１日までの平日

（イ）利用件数

２６件

（２）コインロッカー利用実績

ア 期 間 令和７年８月１日から令和８年３月３１日まで

イ 使用件数 ７２件

ウ 利 用 料 ３６，０００円

（３）施設案内リーフレットの作成

武蔵五日市駅前拠点施設の利用促進を図るため、施設案内リーフレットを作成した。

武蔵五日市駅前拠点施設リーフレット ３０，０００部

（４）イベントの実施

秋川流域の魅力発信と人々が利用・交流する場の創出を目的に、各種イベントを実施した。

ア 武蔵五日市駅前拠点施設「フレア五日市」オープン記念イベント

（ア）開 催 日 令和７年６月２１日

（イ）内 容 オープン記念式典、植栽ワークショップ、マルシェ出店、こどもワークショップ、秋川流域内特産品販売、日の出町の機関車バス「青春号」をモチーフにした「ふわふわドーム」の展示等

イ 秋川溪谷もぐもぐ&わくわくフェス in フレア五日市

（ア）開 催 日 令和８年２月２３日

（イ）内 容 クラフトマーケット及びキッチンカー出店

（５）ワークショップの実施

市民に広く愛着をもたれる施設として賑わいを生み出すことを目的に、施設に設置するベンチの部材の塗装を行うとともに、緑地への植栽など、市民参加型のワークショップを実施した。

ア 植栽ワークショップ

(ア) 開催日 令和7年6月21日

(イ) 会場 武蔵五日市駅前拠点施設「外のひろば」

(ウ) 参加者数 18人

(エ) 内容 フレア五日市を彩る花などの植栽を実施

イ 柿渋塗りワークショップ

(ア) 開催日 令和7年6月27日

(イ) 会場 市立五日市小学校 体育館

(ウ) 参加者数 市立五日市小学校 児童444人

(エ) 内容 武蔵五日市駅前拠点施設に関するレクチャー及び「外のひろば」に設置するベンチ座面となる木材への柿渋塗りを実施

ウ フレア五日市柿渋塗りワークショップ

(ア) 開催日 令和7年12月20日

(イ) 会場 武蔵五日市駅前拠点施設「外のひろば」

(ウ) 参加者数 33人

(エ) 内容 「外のひろば」に設置するベンチ座面となる木材への柿渋塗りを実施

(6) デジタルサイネージ（電子看板）の整備

武蔵五日市駅前拠点施設にデジタルサイネージ（電子看板）を設置し、秋川流域の観光情報や公共交通機関の情報を発信した。

(7) 秋川流域観光推進協議会との連携事業

あきる野市、日の出町及び檜原村並びに各観光協会と協議会を組織し、秋川流域の魅力発信と回遊性の向上を図る事業を実施した。

ア イベントの実施

秋川流域観光フェア～春の『焼きたて』大集合！ in フレア五日市～

(ア) 開催日 令和8年3月21日

(イ) 会場 武蔵五日市駅前拠点施設「中のひろば」「外のひろば」

(ウ) 内容 パン、お菓子及び特産品の販売、公式キャラクターグリーティング

イ 観光パンフレットの作成

秋川流域への誘客を図るため、観光パンフレットを作成した。

秋川流域観光パンフレット 10,000部

ウ サイクルスタンドの設置

サイクリストの回遊性の向上を図るため、秋川流域内の観光地にサイクルスタンドを5基設置した。